業務用エアコン・冷蔵冷凍機器に充填されているフロン類の

**点検のポイント**

R2.3発行

**業務用エアコン・冷蔵冷凍機器について**機器や設置場所の点検や管理が、**機器管理者に義務付けられています。**（令和２年4月1日から、一部改正があります。）

* 全ての機器の**設置状況を確認**しましょう。

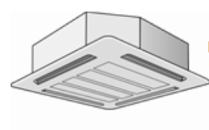
* 全ての機器は、**3か月に1度以上**、自身で**簡易点検**をしましょう。
* 大型機器※1の管理者は、**年1回以上**※2、専門家※3に**定期点検**を依頼しましょう。
* フロン類を充填するときは・・・
* 機器の点検・修理、フロン類の充填の内容は、記録簿(※)に記載しましょう。

（機器の廃棄等を行い、冷媒の引渡しを完了した日から、３年を経過するまで、点検記録簿を保存しましょう。）

・周囲の他の設備による影響を受けない箇所に設置

・周囲に点検及び修理を行う作業空間や通路を確保

・定期的に、凝縮器、熱交換器、排水受けの清掃等を実施　　など



・**目視による点検**（外観の損傷、磨耗、及び腐食その他の劣化、さび、油漏れ、熱交換器の霜付の有無）

・冷凍冷蔵室の温度

・異常音の有無の確認　　など

* 管理者が安全に目視点検できる項目に限る

**・フロン類の漏えいを検査**（**直接法**（漏えい検知器等による検査）又は**間接法**（機器の状態を

把握するために必要な事項（蒸発器の圧力など）を計測）又は直接法と間接法の組み合わせ）

・**目視による点検**（外観の損傷、磨耗、及び腐食その他の劣化、さび、油漏れ、熱交換器の霜付の有無）

その

※1：圧縮機の出力が7.5ｋW以上の機器　　※2：圧縮機の出力が7.5～50kWのエアコンは3年に1回以上

※3：冷凍空調機器に関し、十分な知見を有する者（冷媒フロン類取扱技術者、高圧ガス保安責任者（冷凍機械）など）

・漏えい・故障箇所の修理

（定期点検等によって確認した配管からの漏えい、圧縮機の故障など）

・機器の修理後にフロン類を充填することが原則

・事業所管大臣への報告が必要な場合は、事業者全体でのフロン類の算定漏えい量が

各年度1000 CO2-ﾄﾝ以上の方です。

**【改正点】**

※【記録簿追加事項（改正点）】

・フロン類の引取り又は充塡されていないことの確認の実施年月日

・当該引取り又は確認を行った第一種フロン類充塡回収業者の氏名

**大阪府 循環型社会推進室 産業廃棄物指導課 排出者指導グループ**

**Tel.06-6210-9570（直通） Fax.06-6210-9569**

**http://www.pref.osaka.lg.jp/sangyohaiki/furon2/gaiyou\_20200401.html**

**詳しくは、　 大阪府　フロン 　で検索**